

授業概要

この授業では、冊子体のレファレンスツールを使った探索方法を体系的に習得し、情報や文献探索能力を身に付けることを目的とする。そのため、レファレンスツールについて基本的な知識を学び、具体的なツールを使った演習を指導する。

演習では、割り当てられた模擬質問に対して各自調査を行い、調査結果について簡潔にまとめ、発表を行うものである。

授業計画

第 1 回	レファレンスサービスとは
第 2 回	情報探索の技法
第 3 回	レファレンスブックの情報源
第 4 回	言語・事物・概念情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 5 回	言語・事物・概念情報の探し方（2）発表と解説
第 6 回	人物・企業・団体情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 7 回	人物・企業・団体情報の探し方（2）発表と解説
第 8 回	地理・歴史情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 9 回	地理・歴史情報の探し方（2）発表と解説
第 10 回	図書情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 11 回	図書情報の探し方（2）発表と解説
第 12 回	新聞・雑誌情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 13 回	新聞・雑誌情報の探し方（2）発表と解説
第 14 回	レファレンスインタビューの技法と実際（1）インタビューの実施
第 15 回	レファレンスインタビューの技法と実際（2）発表と解説
第 16 回	総括

到達目標

様々なレファレンスツールについての知識を深め、それらを使った情報探索及び回答ができるようになることを目標とする。

履修上の注意

「情報サービス論」を履修済みであることが望ましい。
この演習は通年科目であり、上記授業計画は科目の半分のものとする。
この演習では図書館での作業や、授業時間外での作業を要する。
遅刻は授業開始 30 分までとし、それ以降は欠席と見做す。

予習・復習

担当問題の実施をもって、授業の復習とする。

評価方法

記録票 60%
発表 20%
課題プリント 20%

テキスト

- 教科書名：『情報サービス演習』
- 著者名：中山愛理編著
- 出版社名：ミネルヴァ書房
- 出版年 (ISBN)：2017 月 1 月 (ISBN978-4-623-07836-3)

授業概要

情報サービスのうちの重要な技術である情報検索について、その概要、必要な機器、手法、検索対象となる情報資源に関する実践的な理解を目指して指導します。

テキストに沿った進捗と、ネットワーク上の情報資源や外部データベース等を扱います。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	データベースと情報検索の復修 1.検索のプロセス、戦略、技術など
第3回	データベースと情報検索の復修 2.検索の評価など
第4回	演習 人物略歴 1.データベースの構造と検索戦略
第5回	演習 人物略歴 2.演習と回答
第6回	演習 雑誌記事 1.データベースの構造と検索戦略
第7回	演習 雑誌記事 2.演習と回答
第8回	演習 図書内容 1.データベースの構造と検索戦略
第9回	演習 図書内容 2.演習と回答
第10回	演習 新聞記事 1.データベースの構造と検索戦略
第11回	演習 新聞記事 2.演習と回答
第12回	演習 ウェブで公開されている情報資源 1.検索エンジンの理解と利用法
第13回	演習 ウェブで公開されている情報資源 2.他館のOPAC、NIIやNDL提供のサービスなど
第14回	演習 外部データベース 1.新聞記事索引データベースなど
第15回	演習 外部データベース 2.デジタルアーカイブなど
第16回	発表とまとめ

到達目標

図書館員の職務につくことを前提に、次のことの実践的な理解を目指します。

1)データベースの基本的な構造と種類、2)情報検索の基本的な技法、3)ネットワーク等を通じて公開されているデータベースの利用。

履修上の注意

通年科目「情報サービス演習」の前半部分です。秋期の履修も必要ですので注意してください。

司書課程の中でも応用的な科目になります。履修にあたっては、基礎的な科目の理解が求められます。原則として「情報サービス論」が履修済であることを前提とします。履修が終わっていない方はご相談ください。

CD-ROMを用いた演習をおこないます。必ずテキストを用意してください。

授業中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

予習・復習

各自に異なった課題を示し、それに対する回答を個別に説明を求め、それに対する確認と助言をおこないます。授業時間以外でも積極的に作業を進めていってください。

「情報サービス論」の理解を前提に進みます。不安のある方は随時同科目の内容を復修確認してください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

評価方法

演習課題と口頭説明(40%・必須)と課題レポート(40%・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論への積極的参加など)および自由提出のレポート(20%)を加えて評価します。

テキスト

テキストにあるCD-ROMを用います。必ず用意してください。

- ・教科書名：CD-ROMで学ぶ情報検索の演習 新訂4版
- ・著者名：田中功ほか編著
- ・出版社名：日外アソシエーツ
- ・出版年 (ISBN)：2013 (ISBN978-4-8169-2393-7)

必要に応じて資料を配布します。